

触媒懇談会ニュース

触媒学会シニア懇談会

中国にて 雑感

阿部伸幸

60歳の定年を機会に新たなことにチャレンジしようと、中国と日本を往復する生活をしており、今、上海から新幹線で約1時間の常州市にいます。

今日は良い天気、青い空に白い雲。えっ、スモッグ(PM2.5)はどうなったのと思われる人も多いと思いますが、最近では以前に比べると、空気がきれいになってきているとのこと。また、広い中国ですので、当然、場所や時期により大きく異なり、一様ではありません。

日頃、テレビ等のマスコミ報道をご覧になったり、実際に中国に行かれる方も多く、中国事情についてもそれなりにご存知かと思いますが、広い中国です。いろんな顔、いろんな面があります。また、非常に速いスピードで変化しています。中国の全てではありませんが、私自身が実際に見聞きしたこと、感じたことをご紹介します。

昔と現在が混在・共存

地方都市では日本の50年前と現在が一緒に混在・共存しているような奇妙な風景を見かけます。例えば、豪華なマンション群がある一方、街角の共同の井戸、川での洗濯。ポッポッと黒い煙を吐きながらむき出しのエンジン(昔の発動機のイメージ)

を付けた車両やオート三輪と、たくさんの最新のベンツ、ポルシェ、BMB、レクサスなどの高級車が一緒に走っています。日本が何十年もかけた進歩を中国では短期間で進めた結果だと思います。

たくさんの高級車が走っているのをみると、日本より豊かな人が多いように見えます。人口が日本の十数倍の中国ですので、絶対数では日本より豊かな人が多くて当然ですよ。

速い変化と進歩

政治的な面で日本と異なる面が多々あります。それゆえか、速いスピードでの変化・進歩が見られます。

例えば、環境汚染。まだまだ問題はありますが、それなりに改善が進んでいるようです。聞くところによれば、政府の突然の指導等により、否応なしに改善せざるを得なく、対応できない企業はつぶれざるを得ないこともあるようです。また、記憶にもあると思いますが、APECブルーもしかり、政府がその気になれば、かなりのことが可能と推測できます。

インフラ整備。つい最近まで住宅があったのに、取り壊されて立派な道路がどんどん出来上がっていきます。(日本のように立ち

退きに時間がかからないのでしょうか。たまたまにゴネて、1 軒だけ造成中の道路の中に残っているのを見かけることもあります(が)。最新の地図(本年版)を購入しましたが、新たな道路や住宅地の記載が間に合わず、現実には比べかなり古く感じられ、バスのルートも地図記載より新たなルートがいくつも新設されていました。

ネット社会

自宅で料理を作らず、食堂・レストランにもあまり行かない人がいます。どうしているのかと聞くと、ネットで料理をデリバリーしてもらっているとのこと。町のあちこちにデリバリーのバイクが走っています。

また、タクシーは、配車アプリで車の位置情報(スマホの地図上に蟻のようにタクシーが蠢いているのが見えます)を得、予約をしている若者が増えています。スーパーやレストランでもスマホ(アリペイ、ウィチャットペイ)を用いて支払う人を日本よりはるかに多く見受けられます。

町のいたるところにシェア自転車を見かけます。スマホで QR コードを読み込んで開錠し、使用しています。日本よりはるかに進んでいるように見えます。

商機・チャレンジ・勢い

中国では規制・既得損益のしがらみがないのでしょうか。商機があれば、瞬く間にビジネス化されているようです。多くの失敗もあり、淘汰もされるようですが、その中で上手にやるところは成功しており、シェア自転車もその一例でしょう。

また、中国では自転車よりはるかに多くの

電動バイクを見かけます。安価で手軽そうに見えます。これも規制が少ないためかと思われる。

中国の企業は新たな投資を凄まじい勢いで行っています。躊躇していると、他の企業がやるだけだとのこと。中国の圧倒的な市場規模と、まだまだ拡大する市場があるが故のことと思われるが、日本では考えられないような勢いを感じさせます。

農業

食べ物の安全性には不安がありますが、中国では果物が安い。夏は何ととってもスイカ。安くてうまい。またお米も安い。稲の収穫期になると、大型のコンバイン(田植え時期には、大型の田植え機)が道路を何台も列をなして走っているのを見かけます。おそらく稲の収穫を請け負いつつ移動しているのでしょう。中国の農地は大変広い。単に労務費が安いだけでなく、この様な大型の機械を入れ、生産性も向上していると思われます。

交通ルール

中国では、車優先。赤信号でも右折可(ちなみに車は右側通行)なので、交差点を渡る時はいつも注意を要します。青信号で横断歩道を渡っていても、いつどこから右折車が来るかもしれません。

メイン道路は広く、たいてい片側 3 車線ぐらゐあります。軽車両は逆行していることもあります。わき道から左折で手前の 3 車線を渡って向こう側の車線に合流する車は、斜めに手前の 3 車線を逆行して対向車を避けながら(むしろ対向車が避けているように見えます)進み、向こう側の車線に合流す

る光景をよく見ます。暗黙の了解があるのか、トラブルなく自然に流れていきます。恐らく両方の車線の車が途切れるのを待っていたら時間がかかるため、安全性は別として、合理的なのでしょう。しかし、私には、ここでの運転はとても無理。

教育熱心

町のあちこちに塾が見られ（特に英語塾が目につきます）、幼稚園児くらいの子供から通っています。また高校（中国では高等中学校）の前も下校時間に交通マヒになるほどたくさんの車が停車しており、親が塾への送迎を行っているようです。

マンション建設

鬼城（完成したが人の住んでいない高層マンション群）がマスコミで紹介されていますが、私の滞在している周りでは、まだまだ新たな高層マンション群（例えば、100戸/棟、20-30棟が塀で囲まれた小区と呼ばれる住居区）がいくつも建設されつつあり、人もそれなりに入居しているように見えます。地域によってかなりの差があるのでしょうね。

ところで、中国のマンションは、内装が未完成の状態で売り出され、購入者が後で好きなように内装工事を行います。そのため、入居後もマンション内のどこかの部屋で内装工事が行われています。朝6時頃から工事が始まり、結構うるさいこともあります。お互い様か、文句を言う人もいないのでしょうか。

賃貸ルーム

建設されているマンションの部屋は個人

が自分で住んだり、貸し出したり、投資の目的で購入しています。今、私が借りているマンションの部屋は、90m²程度。もっと狭い部屋でよかったです。日本のようなワンルームの物件はなく、もっと広い物件が一般的で、これより狭い広さの物件はあまりないようです。

花火と爆竹

町のあちこちに花火の専門店を見かけます。北京などの大都市では大気汚染の規制により自粛されていますが、地方ではまだまだ結婚、引っ越しなどのおめでたいことがあると花火・爆竹を鳴らしてお祝いするようです。花火は、30連発ぐらいの打ち上げ花火の入ったリング箱ぐらいの段ボール箱に点火され、30-50mぐらいの高さ（高層マンションの中ほど）で破裂・開きます。朝の6時ぐらいから爆竹が鳴り花火が打ち上げられ、夜は12時ごろまで、新しい小区では度々これらの音が聞こえます。

路中のゴミ

中国では道路にゴミが多いといわれています。確かにポイ捨てる人も多く見かけます。北京ではヒマワリの種の殻がやたら道路に落ちていたのが目につきました。しかし、一方、歩道には100m間隔位にゴミ箱があり、常に道路を掃除している人たちがいて、思ったほど多い感じはありません。ただ、最近はペットを飼う人が増えてきているようで、歩行中は犬の落とし物に注意する必要があります。

公園

朝の公園には太極拳をしている人がいる

イメージがありますが、めったに見ません。現地の人に聞くと、今時太極拳をする人は珍しいとのこと。むしろ、朝夕に音楽に合わせて集団でダンスをしているご婦人たち、ランニングをしている人、散歩をしている夫婦・家族をよく見かけます。健康には特に注意を払っているようです。

(E-mail : n_abe@kcn.ne.jp)

都市近郊の田舎の風景

臨安（杭州市、南宋の都）の山間に小旅行に行きました。静かなところで、空気もきれいで、澄んだ川には小さな魚がたくさん泳いでおり、日本の山間部と似た風景でした。違うところと言えば、山に生えている木が、日本でよく見かける植林された檜木や杉と異なり、竹林や雑木林が多く、また古びた家をほとんど目にせず、ピカピカした材料を用いた中国らしい華やかな民家が多く見受けられました。日本の田舎は限界集落化、衰退が進んでいるといわれていますが、ここでの印象はまだまだ豊かになっているように感じました。もっと僻地に行けば、違うのかもしれないが。

最期に、この歳になり、今まであまり行くことなかった海外に行き、違和感も多々ありますが、「なるほど」、「これもありだな」等と、これまでの常識に捕らわれない異なった考え方に改めて感じさせられています。また、最近では平均寿命が 80 歳を超え、中国で何人かの 70 歳前後の日本人技術者にも会いました。フルタイムではないが、時々来て仕事をしているとのこと。私もシニアと呼ばれるようになりましたが、元気で動ける内は、まだまだ頑張ればと思う毎日です。